



TITLE:

I [最近文獻目錄] 國內

AUTHOR(S):

---

CITATION:

I [最近文獻目錄] 國內. 中國文學報 1955, 2: 1-10

ISSUE DATE:

1955-04

URL:

<https://doi.org/10.14989/176582>

RIGHT:

# 最近文獻目錄

## I 國 内

(1954年9月～12月)

### 語 學

#### 1 總 論

- 漢民族の形成—コンラート「漢語論」より—  
竹 内 實 譯 8月 中國語
- 民族共通語と方言の問題（上）—コンラート「漢語論」より—  
竹 内 實 共譯 9月 中國語  
長岡たかし
- 民族共通語と方言の問題（下）—コンラート「漢語論」より—  
竹 内 實 共譯 10月 中國語  
長岡たかし
- 單音節の問題（上）—コンラート「漢語論」より—  
大阪市立大學譯 11月 中國語  
中國研究室
- 單音節の問題（下）—コンラート「漢語論」より—  
大阪市立大學譯 12月 中國語  
中國研究室
- 中國語學の研究法について 藤 堂 明 保 10月 中國語學研究會會報31
- 「漢兒言語」について—白話發達史に關する試論  
太 田 辰 夫 7月 神戸外大論叢Ⅴ—2
- だまつてはいられない さねとう・けいしゅう 11月 中國語學研究會會報32
- 金澤大會を顧みて 香 坂 順 一 等 12月 中國語學研究會會報33
- 日本方言の中國語による解明 道 關 興 門 10月 漢文學3

#### 2 音 聲・音 韻

- 中國語の史的音韻論 藤 堂 明 保 10月 日本中國學會報6
- 漢字はみな一音節だというわけ  
さねとう・けいしゅう 3月 東洋文學研究2
- 佛國記に存する音譯語の字音 宇 井 伯 壽 3月 名古屋大學文學部研究論集  
9哲學3
- 切韻の韻母を解釋する 日 下 部 文 夫 ? 岡山大學法文學部學術紀要  
3
- 唐代長安音再構成の基礎 福 永 靜 哉 10月 京都女子大學紀要9
- 唐代長安音に於ける微母に就いて  
河 野 六 郎 9月 中國文化研究會會報Ⅳ—1
- 正倉院聖語藏東大寺圖書館藏地藏十輪經元慶元年加點本に見えたる字音資料  
訓點語と訓點資料（京都大學訓點語學會）  
中 田 祝 夫 4月

日本佛家に傳誦されたる音韻研究資料

- 飯田利行 12月 「内野台嶺先生追悼論文集」  
駒澤大學中國文學研究室  
内野台嶺先生追悼論文集刊  
行會  
韻鏡を使う人のために 馬淵和夫 12月 國語學19  
書評：馬淵和夫氏著「韻鏡校本と廣韻索引」 辻本春彦 12月 國語學19  
小川環樹 12月  
辯四聲輕聲重濁法の音韻組織 眞武直 9月 支那學研究（特輯）11  
A I 倉石武四郎 10月 「創立廿五周年紀念論文集」  
（人文科學研究所紀要14）  
京都大學人文科學研究所  
丹陽方言と日本漢字音との聲調について 賴惟勤 9月 お茶の水大學人文科學紀要  
5  
中國語における對比の問題(一) 石田武夫 12月 5 彥根論叢（人文科學特輯）  
書評：北京語の音韻體系について—Hartman, Lawton M.; “The Segmental Phonemes  
of the Peiping Dialect” (Language Vol. XX, No. 1, 1944)  
服部四郎 3月 言語研究25

3 語彙・語法

- 漢語の系譜 藤堂明保 9月 漢文教室14  
漢文法(10)~(12) 牛島德次 5月  
11月 漢文教室12~15  
訓讀の窮窟さ—非専門家の立場から— 小島憲之 12月 訓點語と訓點資料3  
中古漢文訓讀文の文構造 築島裕 9月 國語と國文學XXX—9  
中國語に於ける關係詞の考察 宮田一部 10月 漢文學3  
中國語法の心理的性格—「見」字の受身法を中心として— 竹治貞夫 9月 支那學研究（特輯）11  
六朝語彙の斷片 伊藤富雄 9月 支那學研究（特輯）11  
“頗”字訓詁小考 水谷眞成 12月 大谷學報XXXIV—3  
同詞異義 高橋君平 11月 中國語學研究會會報32  
杜撰 高橋君平 12月 中國語學研究會會報33  
中國小說戲曲の用語研究ノート(一)一家藏白話研究本邦文獻提要— 波多野太郎 ? 日本大學文學部研究年報4  
呂叔湘著 「中國語法學習」 大原信一 12月 江南書院B6 218  
伊地智善繼譯  
陪伴詞にあらわれた中國人の具象的思維方法—其二— 六角恒廣 3月 東洋文學研究2  
《碗打破了》は被動式表現だろうか？ 香坂順一 11月 中國語學研究會會報32  
書評：＜“語法講話”について（さねとう 中國語學研究會會報28）＞をよんで 香坂順一 9月 中國語學研究會會報30

#### 4 文 字 表 記

- 中國文字の構造法 小 川 環 樹 9月 「書道全集」1 平凡社  
 “指 事”私 見 村 上 久 吉 6月 漢文教室13  
 筆 順 雜 考 渡 邊 清 一 7月 斯文10  
 甲骨文研究の進展—とくにその編年的整理の問題を中心として—  
 佐 藤 武 敏 8月 史學雜誌 LXII—8  
 甲骨文と金文の書體 貝 塚 茂 樹 6月 「書道全集」1 平凡社  
 今時出現の文字資料 梅 原 末 治 9月 「書道全集」1 平凡社  
 讀書と文字改革 倉 石 武 四 郎 11月7日 サンデー毎日

#### 5 方 言・方 言

- 廣州方言の介音について 賴 惟 勤 9月 中國語學研究會會報30  
 湖南省岳陽附近の方言について 秋 元 一 郎 11月 中國語學研究會會報32

#### 6 語 學 史

- 急就篇—二千年前の速成教科書—  
 原 田 淑 人 9月 讀書春秋 V—9  
 秋水園主人「小説字彙」をめぐつて—日本中國語學史稿之二—  
 鳥 居 久 靖 12月 天理大學學報16  
 明治期における中國小説字典について(1)  
 鳥 居 久 靖 12月 中國語學研究會會報33

#### 7 教 育

- 文化の大衆化と語文運動 大 原 信 一 ? 「新中國の經濟と文化」法  
 伊 地 智 善 繼 ? 律文化社  
 失敗の經驗（中國語教育について—全國大會共通討論テーマについての意見—）  
 さねとう・けいしゅう 9月 中國語學研究會會報30  
 共通討論テーマについて（中國語教育について—全國大會共通討論  
 テーマについての意見—） 尾 上 兼 英 9月 中國語學研究會會報30  
 是非教えて頂きたいこと（中國語教育について—全國大會共通討論  
 テーマについての意見—） 宅 見 晴 海 9月 中國語學研究會會報30  
 中國語教室の問題 安 藤 彦 太 郎 10月 中國語學研究會會報31  
 東大教養學部における中國語の授業についての學生の考え  
 東大教養學部 中國語クラス・中國研究會 10月 中國語學研究會會報31  
 二本の線—商業貿易中國語教育のありかたについての私見—  
 芝 池 靖 夫 10月 中國語學研究會會報31

#### 8 教 本

「NHK中國語入門講座」	倉石武四郎	9月 11月	ラジオサービスセンター B6 各32
「中 國 語」	中國語編集委員會	1月 12月	中學語友の會A5?
「實用中國語模範式辭挨拶集」	長谷川 寛	4月	東京外國語大學 中國語學科?

## 9 辭 典

「ラテン化新  
文字による 中國語辭典」第1分冊

倉石武四郎 9月 和平出版社A5 66

## 文 學

### 1 總 說

「中國文學入門」	菊地三郎	9月	新評論社・新書252
「漢詩入門」	齋藤 响	1月	元々社 民族教養新書286
人間詩話 その二十四	吉川幸次郎	10月	圖書61
人間詩話 その二十五	吉川幸次郎	11月	圖書62
人間詩話 その二十六	吉川幸次郎	12月	圖書63
對句中に於ける語の情緒的價值	谷川英則	6月	漢文學會會報15
詩論書に見える對句の種類	古田敬一	9月	支那學研究(特輯)11
書評:張相「詩詞曲語辭匯釋」	入矢義高	8月	中國語學研究會報29
同	同	10月	中國文學報1
「單調の詞」	小林健志	8月	自印・志延舍文庫其十 103
漁 父	小林健志	10月	東方文藝會報12
魚山の詩餘	中田勇次郎	10月	東方文藝會報12

### 2 先秦文學

詩經國風篇の三詩境	長澤文男	3月	東洋文學研究2
詩經國風篇にあらはれたる古代中國人の植物觀について	池田不二雄	?	「中國古代史の諸問題」 東京大學出版會
西周の沒落を詩經から見る	鈴木修次	5月	漢文教室12
毛傳と爾雅一帖と配に關連して一	鈴木修次	9月	漢文教室14
帖と配(詩經陟帖)の意味	月洞 讓	9月	漢文教室14
寓言・重言・卮言 戰國諸子の思想表現について	田中 巖	9月	支那學研究(特輯)11
讀 莊 劄 記	明石守雄	9月	支那學研究(特輯)11
莊子の世界——內篇に於ける莊子特有の逆說に基いて一	天野 鎭雄	10月	日本中國學會報6

莊子内篇における世界一主として逆説の論理的構造に基きて一

天野 鎮 雄 10月 各個研究および助成研究報告集録 哲・史・文學編  
あひる一アジア説話の發展と交流についての一つの試み一

田 中 巖 10月 天地人11  
孔子説話の思想史的研究 渡 邊 卓 10月 各個研究および助成研究報告集録 哲・史・文學編

### 3 漢 代 文 學

漢賦、魏晉の諸賦における詩經的文學觀の展開

中 島 千 秋 10月 各個研究および助成研究報告集録 哲・史・文學編  
項羽の垓下歌について 吉 川 幸 次 郎 10月 中國文學報1  
“淮南子”の研究 金 谷 治 10月 各個研究および助成研究報告集録 哲・史・文學編  
文選李善註所引古樂府考 横 田 輝 俊 9月 支那學研究（特輯）11  
樂 府 の 研 究 目 加 田 誠 10月 各個研究および助成研究報告集録 哲・史・文學編  
章句書について 河 口 音 彦 9月 支那學研究（特輯）11

### 4 三國六朝文學

六朝語彙の斷片 伊 藤 富 雄 9月 支那學研究（特輯）11  
六朝神滅論の背景 關 正 郎 10月 日本中國學會報6  
一老莊思想家の著作と生涯一嵇康に就いて一  
清 水 潔 10月 懷德25  
招隱詩について 小 尾 郊 一 10月 東方學9  
陶淵明の人間愛 鎌 田 正 5月 漢文教室12  
古逸六朝觀世音應驗記の出現一晉・謝敷、宋・傅亮の光世音應驗記一  
塚 本 善 隆 10月 京都大學人文科學研究所廿五周年記念論文集  
文心雕龍何義門校宋本考 戸 田 浩 曉 9月 支那學研究（特輯）11  
「文選索引」第一分冊（中文研究叢刊第四）  
斯 波 六 郎 11月 廣島大學文學部中國文學研究室 四六版 133  
志怪小説の成立について 内 田 直 夫 10月 日本中國學會報6  
中國 木 蘭 の 話 志 田 不 動 曆 10月 天地人11

### 5 唐 代 文 學

唐 詩 新 調 日 夏 耿 之 介 11月 中央公論794  
「雀 の 涙」 眞 部 衛 7月 自油印 37  
「玉壺春詩片」 湯 山 愧 平 ? 明文堂（高知市）A5 166  
書評：「新唐詩選續編」 中 西 清 11月 漢文教室15  
『遊仙窟』の成立に關する一考察一遊仙窟研究その一一  
長 田 夏 樹 7月 神戸外大論叢V-2  
遊仙窟訓讀の傳説について 奥 野 信 太 郎 9月 歴史教育

遊仙窟について	近 藤 春 雄	12月	愛知縣立女子短期大學紀要 5
「眞福寺本遊仙窟」	神田喜一郎解説	1月	貴重書籍刊行會 影印56 (一帙一冊)
王維の一生及び藝術について	菅 谷 軍 次 郎	?	宮城學院研究論文集 6
「李 太 白」	田 中 克 已	7月	元々社民族教養叢書新書241
李 白 の 時 代	武 部 利 男	12月	Viking 58
杜甫の對句についての一考察	高 木 正 一	10月	中國文學報 1
白居易蘇軾に相通ずる一連の性格について	大西徳次郎	10月	國語(香川) 7
數字的表現と白樂天の詩	金 子 彦 二 郎	11月	漢文教室15
ハク・ラクテン：ながいうらみのうた			
	タケベ・トシオ譯	10月	Viking 55
ハク・ラクテン：すまいをなげく			
	タケベ・トシオ譯	10月	Viking 56
ハク・ラクテン：びわのうた	タケベ・トシオ譯	10月	Viking 56
ハク・ラクテン：つばめのうたーリュウじいさんにー			
	タケベ・トシオ譯	11月	Viking 57
ハク・ラクテン：むぎかりをみる			
	タケベ・トシオ譯	11月	Viking 57
ハク・ラクテン：くろいふちのりゅう			
	タケベ・トシオ譯	11月	Viking 57
孟東野の生涯(その一)	上 尾 龍 介	11月	中國文藝座談會ノート 2
夫人飛入瑤臺—李長吉をめぐる—			
	原 田 憲 雄	9月	方向 4
離 歌	原 田 憲 雄	9月	方向 4
燭背・燈背ということ—讀詞瑣記—			
	村 上 哲 見	10月	中國文學報 1
杜 牧 と 傳 奇	清 水 茂	10月	中國文學報 1
唐代小説の社會性に就いて	根 本 誠	3月	東洋文學研究 2
杜子春傳に關する二三の考察	内 山 知 也	9月	中國文化研究會會報Ⅳ—1
變文と講史—中國白話小説の形式の起源—			
	小・川 環 樹	10月	日本中國學會報 6
敦煌文學研究書目	太 田 辰 夫	7月	神戸外大論叢Ⅴ—2(附録)

## 6 宋 代 文 學

白居易蘇軾に相通ずる一連の性格について

	大西徳治郎	10月	國語(香川) 7
蘇東坡の詩文用語の研究	小 川 環 樹	10月	各個研究および助成研究報 告集録 哲・史・文學編
虞美人草(詩)の作者に就いて	中 西 清	9月	漢文教室14

北宋の演藝（續完）	入 矢 義 高	10月	日本中國文學會報 6
詩形より見た長短句	田 森 襄	6月	埼玉大學紀要 人文・社會科學篇
「涙眼集」	花 崎 采 瑛	11月	四季社 新書160
明月の詞	花 崎 采 瑛	10月	東方文藝會報12
中國近代通俗小説の研究	杉 森 正 彌	10月	各個研究および助成研究報告集錄 哲・史・文學編
書評：孫楷第「論中國短篇小説」	葉德均		「宋元明講唱文學」
	小 川 環 樹	10月	中國文學報 1

## 7 金 元 文 學

文學としての董西廂（上）	田 中 謙 二	10月	中國文學報 1
漢宮秋の主題について	波 多 野 太 郎	10月	東方學 9
劉致作散曲「上高監司」攷	田 中 謙 二	11月	東洋史研究 XIII—4

## 8 明 代 文 學

明代における文學理念の調査研究

	前 野 直 彬	10月	各個研究および助成研究報告集錄 哲・史・文學編
公安から竟陵へ—袁小修を中心として—			
	入 矢 義 高	11月	京都大學人文科學研究所創立廿五周年記念論文集
水滸傳解釋の問題	目加田 誠	12月	文學研究（九州文學會）50
書評：人民文學出版社「水滸」作家出版社「水滸」人民文學出版社「水滸全傳」			
	清 水 茂	10月	中國文學報 1
書評：奥野・魚返譯「水滸傳・西遊記」宇野浩二「さいゆうき」			

伊藤貴鷹「三國の英雄」	菱 沼 太 郎	11月 1日	日本讀書新聞 770
明 曲 研 究	八 木 澤 元	10月	各個研究および助成研究報告集錄 哲・史・文學編
明の宮廷と演劇	岩 城 秀 夫	10月	中國文學報 1

## 9 清 代 文 學

十 六 字 令	日 夏 耿 之 介	10月	東方文藝會報12
燈火報喜曲（蒲柳泉）	平 井 雅 尾 譯	9月	綜藝 23
鄭板橋の一面	今 關 天 彭	10月	東方文藝會報12
汪 中 傳 稿	稻 葉 誠 一	10月	東方學 9
曹霽和高霽に關する試論	伊 藤 漱 平	10月	北海道大學外國語・外國文學研究 2
彈 詞 の 研 究	倉 田 淳 之 助	10月	各個研究および助成研究報告集錄 哲・史・文學編

## 10 現 代 文 學

「新中國文學」	中 國 研 究 所	7月	青木文庫 138
「現代中國の作家たち」	竹 内 好 編 岡 崎 俊 夫	7月	和光社 現代選書 B6 211
國民を結ぶ作家	岡 崎 俊 夫	7月	「現代中國の作家たち」和光社



「現代中國文學論」	大 芝 孝	10月	庶民文庫 2 127
中國人民文藝の歴史的發展	竹 内 好	10月	各個研究および助成研究報告集録 哲・史・文學編
新しい文學活動	阿 部 知 二	11月 7 日	サンデー毎日
中國の變革期における社會經濟文化の相關關係の研究	倉 石 武 四 郎	10月	綜合研究報告集録—人文編
反動支配下の中國知識人と“前衛”一陶行知の“改良”をめぐつて—	齋 藤 秋 男	12月	思想 366
新中國の古典	倉 石 武 四 郎	7 月	文庫34
書評：王瑤「中國新文學史稿」	相 浦 杲	10月	中國文學報 1
中國の現代敘事詩	秋 吉 勝 廣	11月	中國文藝座談會ノート 2
總路線下的一幕劇	伊 藤 敬 一	10月	北斗 I—1
北京の映畫事情	不 詳	10月	天地人 11
中國の映畫（「大衆電影」より）	岡 本 和 夫 譯	11月	白塔 3
瀟州影戲の藝術	澤 田 瑞 穂	12月	跡見學園國語科紀要 3
魯 迅	小 野 田 耕三郎	7 月	「現代中國の作家たち」和光社
革命詩人殷夫の魯迅	宇 田 禮	10月	北斗 I—1
エロシエンコと魯迅	伊 藤 敬 一	12月	北斗 I—2
“野草”における希望	小 野 田 耕三郎	10月	北斗 I—1
“故事新編” おぼえがき	檜 山 久 雄	10月	北斗 I—1
郭 沫 若	佐 藤 一 郎	7 月	「現代中國の作家たち」和光社
郭沫若の“女神”について	陣 之 内 宣 男	3 月	東洋文學研究 2
「現代中國文學全集」Ⅱ—郭沫若篇—			
松枝茂夫・小野田耕三郎・須田禎一共譯	6 月	河出書房 B5 369	
郭沫若：詩二篇	飯 塚 朗 譯	9 月	中國文學(北大) I—1
郭沫若：詩二篇	宇 田 禮 譯	12月	北斗 I—2
新中國と謝冰心	影 山 巍	11月	中國文學座談會ノート 2
郁 達 夫	阿 部 幸 夫	7 月	「現代中國の作家たち」和光社
まだ整理されない中國文學の古瘡—郁達夫のことについて—	中 野 美 代 子	10月	中國文學(北大) I—1
巴 金	立 間 祥 介	7 月	「現代中國の作家たち」和光社
巴金の“家”に描かれた女性像	君 島 久 子	10月	北斗 I—1
巴金について	不 詳	11月	中國文學(北大) I—1
「現代中國文學全集」Ⅳ—巴金篇—			
岡崎俊夫・瀧靜子・千田九一共譯	9 月	河出書房 B5 375	
巴 金：將 軍	譯 者 不 詳	11月	中國文學(北大) I—2
書評：巴金「第四病室」	小 野 田 耕三郎	12月	北斗 I—2
茅 盾	小 野 忍	7 月	「現代中國の作家たち」和光社

## 中國における近代ロマンの出発點—矛盾の蝕をめぐつて—

- 佐藤一郎 12月 北斗Ⅰ—2  
 書評：矛盾「腐蝕」 10月 北斗Ⅰ—1  
 革命詩人殷夫と魯迅 宇田禮 10月 北斗Ⅰ—1  
 殷夫—詩二篇— 宇田禮譯 10月 北斗Ⅰ—1  
 老舍 伊藤敬一 7月 「現代中國の作家たち」和光社  
 春の華秋に實る 中島淡雪譯 11月 白塔3  
 丁玲 高島穰 7月 「現代中國の作家たち」和光社  
 過渡期の丁玲とルポルタージュ 高島穰 10月 北斗Ⅰ—1  
 丁玲“我在霞村的時候” 小西昇 9月 中國文藝座談會ノート1  
 “引力”雜感—抵抗の前提— 立間祥介 12月 北斗Ⅰ—2  
 「現代中國文學全集」Ⅷ—沈從文篇—  
 松枝茂夫・立間祥介・岡本隆三共譯 10月 河出書房B5 367  
 曹禺 佐藤一郎 7月 「現代中國の作家たち」和光社  
 「現代中國文學全集」ⅩⅢ—曹禺篇—  
 奥野信太郎・佐藤一郎共譯 12月 河出書房B5 373  
 趙樹理 檜山久雄 7月 「現代中國の作家たち」和光社  
 鐵鎖が太原の滿州墳で小常に会うことについて  
 樋口進 9月 中國文藝座談會ノート1  
 趙樹理文學の人間追求について—“福貴”を手がかりとして—  
 飯田吉郎 9月 中國文化研究會會報Ⅳ—1  
 趙樹理：雨乞い 阿部幸夫譯 12月 北斗Ⅰ—2  
 艾青 宇田禮 7月 「現代中國の作家たち」和光社  
 胡風：“生活が訴えている”—日本の進歩的映畫「どっこい生きている」に關して  
 の二、三の解説— 松川健二譯 9月 中國文學(北大)Ⅰ—1  
 馬加“しばまぬ花”（開不败的花朵）について  
 諸井耕二 9月 中國文藝座談會ノート1  
 陳涌：小説評論 齋藤俊夫譯 11月 白塔3  
 呂劍：期待 大谷三郎譯 11月 白塔3  
 ？：食糧 中島淡雪譯 11月 白塔3  
 秦兆陽：選舉 阿部幸夫譯 12月 北斗Ⅰ—2  
 中國の作文教育法（人民日報52, 12, 6）  
 譯者未詳 10月 文學の友46  
 中國作文教育法の實際（黃成玉ほか）  
 譯者未詳 12月 文學の友48

## 11 比較文學

- 奈良朝末期の短歌修辭學 尾山篤二郎 10月 「萬葉集大成Ⅶ」平凡社

萬葉集歌と中國韻文	杉 本 行 夫	10月	「萬葉集大成Ⅶ」平凡社
萬葉集と中國文學との交流	小 島 憲 之	10月	「萬葉集大成Ⅶ」平凡社
萬葉集と上代詩	山 岸 德 平	10月	「萬葉集大成Ⅶ」平凡社
膠清語の文學	吉 川 幸 次 郎	10月	「萬葉集大成Ⅶ」平凡社
比較文學と萬葉集	土 居 光 知	10月	「萬葉集大成Ⅶ」平凡社
萬葉集の比較文學的研究	吉 田 精 一	10月	「萬葉集大成Ⅶ」平凡社
源氏物語に於ける引用漢詩文の典據に關する一試論	古 澤 未 知 男	6 月	漢文學會會報15

## 12 日 本 漢 文 學

轉換期の日本漢文學界	山 岸 德 平	10月	國語と國文學
「日本漢文學史」増訂版	岡 田 正 之	12月	吉川弘文館 A5, 458
漢文訓讀史の研究	築 島 裕	10月	各個研究および助成研究報告集録 哲・史・文學編
大津皇子作品小觀	渡 邊 弘 一 郎	6 月	漢文教室13
正倉院聖語藏御藏點本の研究—點本書目錄の作製—	春 日 和 男	10月	各個研究および助成研究報告集録 哲・史・文學編
千百年以前の漢文訓讀	中 田 祝 夫	5 月	漢文教室12
藩學および詩論を中心とする近世日本漢文學の研究—日本漢文學史の一部として—	松 下 忠	10月	各個研究および助成研究報告集録 哲・史・文學編
林羅山と白氏文集	金子彦二郎	?	文學論藻3
梅園“玄語”初期の思想	田 口 正 治	9 月	支那學研究(特輯) 11
山陽の脱藩について	成 井 弘 文	9 月	支那學研究(特輯) 11
李門公の文學	黒 江 一 郎	10月	懷德25
「息軒先生遺文集」四卷	黒江一郎編集註解	9 月	安井息軒先生顯彰會 B6, 108
「故内藤湖南先生著述目錄」	愛知大學國際問題研究所編	10月	愛知大學國際問題研究所 A5, 39

## 13 學 界 展 望

我が東洋學界の近況	和 田 博 德	10月	東方學9
海外東方學界の消息	石 田 幹 之 助	10月	東方學9
最近國內文獻目錄	吉 田 知 義	10月	中國文學報1

## Ⅱ 中 國

(1954年1月~12月)

### 語 學

#### 1 總 論

「論 漢 語」	Н. И. Конрад 著 彭 楚 南 譯	1 月	上海中華書局 中國語文叢書 51
中國語的特質及其變遷大勢	周 法 高	12月	大陸雜誌 K-12